



第9回「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2017年3月19日

小樽観光大学校

*合格発表は下記のホームページでご確認できます。
*URL:<http://www.otaru-kd.com>

各設問で選択問題は番号で、また記述問題は決められた字数で記入しなさい。
(制限時間90分)

問1

観光の語源は紀元前の『易教』にある「観国之光」にあると言われてしていますが、その意味は次のどれでしょうか。

1. 光り輝くような先進国を観る
2. 他国の異文化を学ぶ
3. 観光で国を光らせる
4. 金ピカこそが観光の国づくり

問2

昭和50年代、全国で「安・近・短」旅行ブームに火を付けた層とは次のどれでしょうか。

1. 温泉どんちゃん騒ぎの企業層
2. 社会進出目覚ましい女性層
3. 年金に恵まれた高齢者層
4. 課外学習欲旺盛な修学旅行の学生層

問3

昭和60年代初期、小樽が観光準備をする前に多くの観光客が押し寄せて来ましたが、その原因は次のどれでしょうか。

1. 何度も広告媒体で小樽PRを見たから
2. ちょうど小樽観光キャンペーンがあったから
3. 預金もできてどこでも良かったから
4. 小樽運河保存運動の報道に興味を持ったから

問4

北海道の中で、なぜ小樽が先行して観光地になってきたのでしょうか。最も特徴的なものを次の中から選びなさい。

1. 水が美味しいから
2. 自然が豊かだから
3. 人情が厚いから
4. 歴史的な街並みに新しい息吹があったから

問5

昭和50年に発足した「小樽運河を守る会」以後今日まで、小樽には80を超すまちづくり運動（団体）が誕生してきましたが、小樽観光の契機となった運動（団体）で存在しなかったのは次のどれでしょうか。

1. 小樽運河を愛する会
2. 小樽運河を考える会
3. 小樽運河と共に生きる会
4. ポートフェスティバル実行委員会

問6

小樽のまちづくり運動が目指したものは次のどれでしょうか。

1. 地域の自立を目指した政治・経済・文化を形成すること
2. 観光に結びつく政治・経済・文化を仕掛けること
3. 政治家を育て、より多くの公共事業を誘導すること
4. 大企業を誘致し、より多くの下請けを誘導すること

問7

小樽観光が「まちづくり観光」といわれる所以でないものは次のどれでしょうか。

1. 多くのまちづくり運動（団体）によって結果的に観光に波及
2. 観光振興のみを目的としたまちづくり運動（団体）が集中した
3. 保存するだけでなく利用できる観光
4. ニーズにのみ対応せず独自の文化を育む観光

問8

現在の小樽観光の問題として指摘されていないのは次のどれでしょうか。

1. 宿泊率を上げなければ
2. 温泉をもっと掘らなければ
3. 交流を促進しなければ
4. 歴史的建造物再利用を促進しなければ

問9

小樽雪あかりの路の考え方やその精神の始まりは次のどれでしょうか。

1. ポートフェスティバル
2. 潮祭り
3. サマーフェスティバル
4. 町内会

問10

小樽雪あかりの路の雪のオブジェを制作するときの基本的な考え方は次のどれでしょうか。

1. カラフルに作ること
2. 雪像を作ること
3. 自然を生かすこと
4. 人工物を活用すること

問11

現在雪あかりの路で使用中の浮き球キャンドルの浮き球の制作会社は次のどれでしょうか。

1. 浅原硝子
2. 北一硝子
3. 大正硝子
4. 深川硝子

問12

小樽雪あかりの路で、韓国から来樽しているボランティアの団体の名称は、次のどれでしょうか。

1. OKOVO
2. eVOL
3. OKOVOL
4. 橙

問13

平成25～27年度の小樽市観光月別入込客数の年間第3位の月は次のどれでしょうか。

1. 8月
2. 9月
3. 5月
4. 2月

問14

平成27年度の道内観光入込客数順位で小樽市は何位で、そのお客様数は次のどれでしょうか。

1. 3位で、780万人
2. 2位で、795万人
3. 2位で、750万人
4. 5位で、700万人

問15

平成27年度の小樽市の観光日帰り客数は、全体入込客数の何パーセントでしょうか。

1. 30%
2. 53%
3. 85%
4. 91%

問16

平成27年度の小樽への観光入込客数を小樽市の定住人口に換算すると、およそどの位の人口に匹敵するでしょうか。次の中から選びなさい。

1. 約10.5万人
2. 約11.3万人
3. 約12.2万人
4. 約13.0万人

問17

小樽運河の中央橋から運河公園までの区間には歴史ある建物や散策スポットがあります。そのなかで小樽市都市景観賞を受賞していないのは次のどれでしょうか。

1. 旧小樽倉庫
2. 小樽運河工芸館
3. 北海製罐(株)小樽工場
4. 運河公園

問18

旧安田銀行の北側には銀行建築として旧東京銀行（現：三立機電株）が現存しています。この東京銀行は戦後に改称された名称ですが、その前身の名称は次のどれでしょうか。

1. 第百十三国立銀行
2. 横浜正金銀行
3. 神奈川為替銀行
4. 埼玉銀行

問19

小樽運河中央橋街園でガイドしています。間違っているのは次のどれでしょうか。

1. 運河の北側をご覧ください。一番向こうに見える橋は北浜橋といい、そこは当時の幅40mの運河が残っています。
2. この中央橋の山側の突き当りはJR小樽駅です。この区間は道路を拡幅した際、電線を地中化したことで、駅から港を望む景観が好評です。
3. 山側をご覧ください。中央通りと臨港線交差点角にあるホテルはホテルノルド小樽で運河地区において景観に配慮した建築として小樽市都市景観賞を受賞しています。
4. すぐ前に見えるのは旧小樽倉庫で、構造は木骨石造です。建てたのは福井県出身の西出孫左衛門と西谷庄八です。大きな特徴は瓦屋根に鯨がのっていることです。

問20

運河公園内でガイドしています。間違っているのは次のどれでしょうか。

1. この公園は、かつては旧日本郵船専用の船入澗で港とつながっていました。
2. 旧日本郵船の裏側には線路があり、この鉄道跡地は昨年、散策路としての整備が完了し、その総延長は2.1kmとなっています。
3. この公園の北側には木骨石造倉庫が3棟並んでおり、名称は増田倉庫、広海倉庫、右近倉庫です。
4. この公園内には小樽港建設の功労者として広井勇、伊藤長右衛門の胸像が港を向いて設置されています。

記述問題

次の各設問に200字前後の文章で述べなさい（簡条書きは不可）

1. 初めて小樽への観光旅行を経験する人は、これまでに得た情報を整理し、限られた時間内で有名な観光スポットを巡ろうとします。それに対して何度も小樽を訪れる人のニーズは「小樽の人との交流」に向かう傾向が強くなってきます。さて、この「交流ニーズ」に応えるには、どんな環境を用意すればいいでしょうか。具体的に書きなさい。

（まちづくり観光論より出題）

2. 小樽観光において、新たな観光資源になり得るものは何だと思いますか。
その理由も書きなさい。

（観光資源論より出題）

総合記述問題

次の設問に400字前後の文章で述べなさい（簡条書きは不可）

小樽観光の課題の一つとして夜の観光対策があります。観光関連の店舗や施設は午後6～7時には閉店するなど、観光客にとって夜間は楽しめるところが限られています。このような現状を前提とし、夜の小樽を楽しんでもらうためには、あなたなら何を夜の観光資源として捉え、それをどのように活かしていきますか。観光資源を明記し具体的に提案しなさい。

*観光資源（例えば人、物、食、景観・・・など）

*実施する時期（通年または季節）、所要時間、かかる費用の目安なども明記すること。